



「身近な出来事やイラスト」「テーマトーク」募集中!

### 息子の初めて

最近、靴を履いて歩けるようになった息子。ちよつと前までは靴を履いただけで泣いて嫌がり、靴の底に接着剤でも付いているかのようにかたくなに動きませんでした。しかし、少し一緒に手をつないで歩いてみると今まで嫌がっていたのがうそのようにすんなり歩きました。息子の初めてを一番に見ることがするのは嬉しいことです。

金沢市 あつきー

### 叫ぶ男の正体

先日車を運転していたら、風が強くなり雪が急にたくさん降ってきて、前が見えにくくなったので慌ててワイパーを高速にしました。すると後ろか

ら「おーい！おーい！」と叫ぶ男の人の声がかえってきました。運転中だし、バックミラーや両サイドを見てもそんな叫んでいるような姿は見えないし、でもやっぱり「おーい！おーい！」と叫ぶ声はずっと聞こえるし、ぶつかってもしないし、何と言っても運転中だし、どうしたら良いんだろうと思っていました。雪が落ちていたのでワイパーを止めると、「おーい！おーい！」の音がピタッと止まりました。冷静にワイパーの音を聞いてみたら「おーい！おーい！おーん！おーん！おーん！……きゅーん！きゅーん！」。最初はかなりリアルに男の人が叫んでいるように聞こえて、ちよつと怖かったです。

能美市 ミナユツケ



小松市 れいれ

### やっぱり注文してしまっ

チラシにつられて注文し過ぎてパンのわが家の冷凍庫。今回は注文やめておこうかなと思うこともしばしば。でもわが家のちびっ子たちが保育園から帰ってきて玄關に生協の箱があると協力して？奪い合って？楽しそうに中身を確認しているのを見るとやっぱり毎回何かしら注文をしてしまっていた。今日もやっぱり買い過ぎているかも!!ま、いっか。

金沢市 買いすぎママ

### アプリで楽しく1万歩

やっと携帯からスマホに変更し、息子にいろいろとアプリを入れてもらいましたが、なかなか難しく大変！でも歩くことが大好きな私、万歩計がアプリに加わり、より一層歩く楽しみを味わっています。1日1万歩頑張っています！

白山市 マイペースママ

### 新しい環境で

最近育休から職場へ復帰し、娘は保育園、私は仕事と家事、育児と慣れない生活が始まりました。先生が書いてくれた連絡帳で生まれてからずっと一緒だった娘が泣きながらも保育園で

### 新入社員の関門

定年退職前の数年は、リクルートスーツに身を包み髪を束ねたフレッシュヤーズの教育も担当させられていました。彼女たちの最初の関門は電話対応。使い慣れたスマホじゃないので固定電話そのものに脅威を感じ、受話器を持つ手が震えている子さえいました。とにかく「習うより慣れろ」でベルが鳴ったら臆せず出ること。そして「習うより真似ろ」で先輩たちの受け答え方を参考にすること。この2点をモットーに電話だけじゃなくさまざまなノウハウを伝授してきました。一人前になった彼女たちがやがて教える立場になる日を楽しみにしながら…。

金沢市 ミツチエル

### 短くした髪

今から60年前、中学校を卒業して会社に入りました。教育を受けて現場へ入る前、職場の教育長は「長い髪は短く切るように!」と。私は言われる通り、30cm程髪を切りました。現場へ出ると三角

### 優しさに助けられて

秋生まれで小柄な娘は小学校入学当初、ランドセルを背負って小学校まで歩くだけでも大変だったようです。兄が荷物を全部持ってくれた日も多かったです。兄と一緒にいられなかった日はよく帰り道で動けなくなり、近所の上級生たちに自宅まで送り届けられていました。優しい子たちに感謝、感謝の日々でした。娘ももう高学年。今度は優しさを誰かに分けてあげられると「うん分かってる」と返してくれました。

七尾市 みけねこ

### 朝までぐっすり

新入生だった次男。初めて授業を受けた日、遠い通学路を歩いて家にたどりついて即眠りにつき、朝まで目覚めることがなかったことが忘れられません。まじめな彼、緊張していたのでしょうか。

金沢市 あんず酒



かほく市 いちごけーき

今回のテーマトークのお題は「歯にまつわるエピソード」



### 作品との出会い

書き人のんさん連載が終わった今でも大人気の鬼滅の刃。衝撃的なシーンもありましたが、心に残るシーンもたくさんありました。

私は5年前前に娘を亡くしました。彼女は出産時のトラブルで肢体不自由になってしまいました。彼女は双子でもう一人の子は元気でしたが、少し耳に障がいが残りました。そんな子どもたちの母で、生きていくのに辛い日もありました。それでも生きていくしかない。何度か何度も思う日々でした。忙しい日々を過ごし、悲しみを忘れてきていたときでした。鬼滅の刃の主人公・竈門炭治郎のセリフを耳にしました。

「失っても失っても生きていくしかないんです。どんなに打ちのめされようとも。」

それは鬼に家族を奪われた炭治郎のセリフであり、私への励まし言葉にも取ることができました。確かに、話をするには重すぎる、しかし誰かに分かってほしいという思いでいっばいでしたが、この炭治郎の言葉に救われました。今では、あまり好きではなかった「お子さんおいくつなんですか?」や「お子さんは何人いらっしゃるんですか?」の質問にも笑って答えられるようになりました。たかがアニメ、たかが漫画と敬遠せず、気になる物や作品には手を伸ばしてみることは自分の考えを変えるような重要な出逢いになるかもしれないと、鬼滅の刃という作品を通じて思うようになりました。



機関紙モニターによるエッセイ

母が作ってくれたおやつ今から30年程前のことです。小学生だった私は学校から帰ってから母が手作りしてくれるおやつが楽しみでした。特に記憶に残っているのがぎょうざの皮にプロセスチーズを挟んで油で揚げたおやつです。中がとろっとした熱々のチーズぎょうざは忘れられないくらいおいしかったです。今度は自分が子どもに作ってあげようと思っています。

羽咋市 わくたくまくん



白山市 タケヤン

頑張っている様子を知り、成長を感じ涙、涙です。まだまだ甘えん坊ですが、これからどんどんいろいろなものに触れて学んでいく元気に育つことを願うばかりです。

能美市 チコマ